

オリンピック先生



あ つ み ま な
渥美 万奈 先生
【ソフトボール】

- 生年月日 1989年6月15日
- 出身地 静岡県浜松市
- 出身校 浜松市立曳馬中学校－
私立常葉大附属菊川高校



プロフィール

6歳からソフトボール競技を始め、高校1年時に全国高等学校女子選抜大会で準優勝する。高校卒業後は実業団に所属し、安定した守備を武器に2012年よりチームのレギュラーに定着。日本リーグでは2度のベストナイン賞を受賞。2013年に日本代表に選ばれ、2016年・2018年の世界選手権で2大会連続2位の成績を収め、2018年アジア競技大会で優勝。2021年に開催された東京2020大会への出場を果たし、守備だけではなく勝負強い打撃で金メダル獲得に貢献する。同年現役を引退。現在は全国各地でソフトボール教室を行い、講演会等にも積極的に参加し、後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2021年	東京大会	金メダル
-------	------	------

<国際大会>

2017年	JAPAN CUP 国際女子ソフトボール大会	優勝
	アジア女子ソフトボール選手権大会	優勝
2018年	アジア競技大会	優勝
2019年	女子アジアカップ	優勝

ソフトボール

野球から派生した球技であるソフトボールは、ゲームの進め方等の基本的なルールは野球とほぼ同じですが、グラウンドのサイズや使用球等が異なり、円周12インチ(30.16～30.80cm)のボールを細くて短い3号バットで打つため、打球があまり遠くまで飛ばないため、野球に比べてコンパクトな競技場で行うことができ、運動範囲も狭いので、世代や性別を問わずに楽しまれているスポーツです。



オリンピック先生

こづか たかひこ

小塚 崇彦 先生

【スケート／フィギュアスケート】

- 生年月日 1989年2月27日
- 出身地 愛知県名古屋市
- 出身校 名古屋市立汐路中学校 –
中京大学附属中京 高等学校 –
中京大学 – 中京大学大学院



プロフィール

祖父と両親の影響で、3歳からスケート競技を始め、5歳から本格的に競技に取り組む。2005年ジュニアグランプリファイナルにおいて、日本人男子選手で初めて優勝し、同シーズンの世界ジュニア選手権で優勝を飾る。2010年バンクーバー冬季大会へ出場し、8位入賞を果たす。世界選手権に通算7回出場、全日本選手権には2010年の優勝を含め12回連続出場する等、日本フィギュアスケート界を牽引する。2016年に現役を引退。現在は全国各地でスケート教室を開催し、後進の育成や競技の普及に務める。また、大会等の競技解説やスケート用具の開発にも携わる。2017年から4年間、JOCオリンピック・ムーブメント事業アンバサダーを務め、現在はJOCオリンピック・ムーブメント事業専門部会員としてオリンピックの普及や啓発活動に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2010年	バンクーバー冬季大会	シングル	8位
-------	------------	------	----

<国際大会>

2008年	ISUグランプリファイナル	シングル	2位
2010年	ISUグランプリファイナル	シングル	3位
2011年	世界フィギュアスケート選手権大会	シングル	2位
2014年	四大陸フィギュアスケート選手権大会	シングル	2位
2008年～2012年	ISUグランプリシリーズ	シングル	優勝4回

スケート／フィギュアスケート

フィギュアスケートはスケートの種別の中で唯一得点により順位を競う競技です。男子シングル、女子シングル、ペア、アイスダンスの4種目に分けられ、それぞれ決められた時間の中でショートプログラムとフリープログラム（アイスダンスはショート・ダンス、フリー・ダンス）を音楽に合わせて演技し、ジャッジにより採点されたその得点により順位が決まります。

